

サービス産業動向調査利用研究会（第4回）議事概要

1 日 時 平成21年5月12日（火）10:00～12:00

2 場 所 総務省第2庁舎6階特別会議室

3 出席者 委員：吉澤座長、西郷委員、宇南山委員、大森委員、阿部委員（内閣府）、
肥後委員（日本銀行）、小出委員（統計センター）、山内委員（統計センター）

事務局：小暮統計調査部長、杉山調査企画課長、高見経済統計課長

4 議 題

- (1) 未回収結果の補定方法について
- (2) 指数の作成方法について
- (3) その他

5 議事概要（主な意見等）

(1) 未回収結果の補定方法について

- ・ 2か月目以降の補定方法の変化率について、ゼロでない回答数が極端に少ない場合、表章産業分類（大分類）で計算するより、表章産業分類（中分類）で計算する方が適切であると考えられる。
- ・ 1か月目の売上高の補定方法の誤差が大きい業種については、誤差が大きい状態が続くようであれば、今後、別の回帰方法を検討することも考えられる。
- ・ ある特定の事業所が毎回外れ値になる可能性もあるので、データが蓄積してきたら、特に大きい影響を与える業種あるいは事業所の特性を見ていくとよい。

(2) 指数の作成方法について

- ・ ラスパイレス型とパーシェ型の乖離が非常に小さいのは、直近の2か月を使った月次比較のためと思われるが、年平均を使った結果で比較をすれば乖離がもっと出てくる可能性もある。